

11/26
朝日

分科会、医療崩壊を懸念

「介入が遅れば遅れるほど、社会経済活動への影響が甚大になる」。政府の

新型コロナウイルス対策分科会は政府や都道府県に対応を迫る提言案をまとめ、25日夜の会合で議論した。

感染状況は悪化の一途をたどり、医療崩壊の懸念が高まっている。
▼1面参照

西村康稔・経済再生相の会見資料によると、23日時点では愛知県、大阪府はステージ3の六つの判断指標のすべて、東京都、兵庫県、沖縄県は五つ、北海道は四つを満たしている。分科会からは、早急なステージ3の判断を求める声が上がっている。その上で、従来ステージ3の対策と想定されてきた△酒類を出す飲食店に対する時短営業の要請△夜間の遊びや酒類を出す飲食店の利用の自粛△ステージ3以外の地域との往来を控えることなどを3週間、集中的に取り組むことを求めた。さらに「トラベル」事業の一時停止検討も挙げた。

政府の新型コロナウイルス対策分科会が示した感染状況の判断指標と現状

ステージ	確保想定 病床の使用率 感染のピーク時に確保する想定の病床数に対する今の入院者数	人口10万人 療養者数	検査の陽性率 (最近1週間)	直近1週間にあたる10万人 感染者数の新規	感染経路不明の割合	
3 感染急増	20%以上	15人以上	10%以上	15人以上	1以上	50%以上
4 感染爆発	50%以上	25人以上		25人以上		
北海道	44.1	43.94	8.5	32.11	1.15	26.2
東京都	37.1	16.87	6.3	22.20	1.43	52.9
愛知県	41.4	20.92	15.3	15.23	1.37	50.0
大阪府	46.3	36.33	11.4	27.65	1.52	68.7
福岡県	9.6	3.66	1.8	3.23	1.60	66.7

23時点。西村康稔経済再生相の記者会見で示された内閣府の資料から

などを求めた分科会が短期間で再び会合を開いたのは、「感染拡大のスピードが急剧で、一部の地域では医療提供体制が既に厳しい状況になっている」という現状認識からだ。

春の「第1波」収束後、政府はイベントの人数制限の緩和や「GO TO」事業を進めてきた。だがこうして取り組みは、感染拡大のリスクがつきまとった。分科会は8月、感染状況を四つのステージに分け、危険水準に達すればブレーキをかける仕組みを提言した。

ステージは①感染者が散